

予告～まちのニュースを取材して報告します



池袋本町の「ニュース」や「情報」を、これまで同様に報告していきます。前ニュースから引き継いで、今号を第37号としたことに表れているように、まちづくりはずっと続いています。これまでのまちづくりの灯を絶やさないことを願いつつ、みなさまにさまざまな話題を伝えていきたいです。
いつか広報部会の委員が、みなさまのところに取材に向うかもしれません。楽しみにお待ちしております！

新しいコンサルタントの紹介 株式会社 まちづくり工房 担当：石塚・秋田

はじめまして。今年度より、池袋本町地区のまちづくり活動をお手伝いさせて頂くことになりました。

「協働のまちづくり」とは、地区の未来の姿（将来都市像）を共通の目標として設定し、それぞれが個々ばらばらに目的を追求するのではなく、共有の目標に対して、住んでいる人、働く人、学ぶ人、事業を行う人、行政のそれぞれの立場において責任を持ち、積極的にかかわりを持ち、持続させていくことです。

私たちは、地域の方々の自主的なまちづくりに対して、将来都市像の設定、目標を実現するための事業手法や制度などの情報を提供したり、地域活動などの支援を行っていききたいと思います。

皆様とともに頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。



池袋本町 新しいまちづくりの会 委員募集！

- ◆応募要件◆
 - 月に一回程度の協議会に出席できる方(19時～21時くらい)
 - 池袋本町に在住、勤務、通学の方など
- ◆協議会の開催場所◆
 - 池袋本町第二区民集會室、豊島清掃事務所会議室など
- ◆協議会の主な活動目的◆
 - 池袋本町まちづくり全般にかかる協議、活動など
- ◆申し込み方法◆
 - 左のはがき(要切手貼付)をお送り頂くか、FAX・メール(氏名・住所・電話・年齢・性別を必ず記入)、電話でご連絡ください
- ◆応募締切◆
 - 平成17年10月25日(火)必着
- ◆問い合わせ先◆
 - 「池袋本町 新しいまちづくりの会 事務局」
 - 豊島区 都市整備部 住環境整備課 防災地区係
 - TEL : (3981)-0489(直通)
 - FAX : (5950)-0803
 - メール: bosaichiku@city.toshima.tokyo.jp

応募はがき

私は、「池袋本町 新しいまちづくりの会」に参加します。

お名前	性別	年齢
	男・女	歳
ご住所	特技	ご職業
	〒	
電話	
FAX	
メール	
応募に際しての一言	

なお、プライバシーを厳守するとともに目的以外には使用いたしません。

池袋本町

まちづくりニュース

準備号

Ikebukuro, Minamiya

Machizukuri News

no.37

2005年10月11日発行

発行：池袋本町新しいまちづくりの会準備会
豊島区住環境整備課
問い合わせ先：住環境整備課
TEL 03-3981-0489
編集協力：(株)まちづくり工房

池袋本町新しいまちづくりの会スタートを前に委員を公募！

池袋本町のまちづくりは、新しい「まちづくりの会」を発足します。新しい会は、8年間にわたる防災まちづくりの活動を軸にして、さらに広げます。新しい会の編成を前にして、委員を公募します。

豊島区の防災生活圏促進事業は、昨年度で終了しました。平成8年に始まった「防災まちづくりの会」と、その2年後に発足した「防災ひろばの会」(当初は「JR職員住宅跡地利用検討会」)は、地域の人々とのつながりを大切に、誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指してきました。

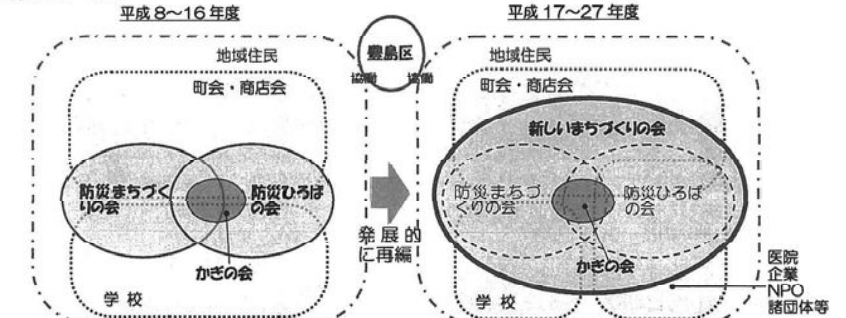
この活動は、今年度より居住環境総合整備事業に引き継がれます。防災まちづくりニュース35・36号でお知らせしたように、8年間のなかで耕し、種をまき、育ちつつある芽を大切に、安心・安全の住まいよまちにしていこうというものです。活動する

会の関係をイメージで表すと、下図のようになります。

現在、新しい「まちづくりの会」をスタートするために、準備会として話し合いを重ねています。

2つの会の委員で構成される準備会では、今後の10年間のまちづくり活動のために、さらに多くの住民や、池袋本町に関係のある方々を公募しようということになりました。これまでの活動の範囲とその輪をさらにひろげ、より積極的にまちづくりを進めるためです。多くの方のご参加をお待ちしています。(詳しくは4ページをご参照ください)

★体制のイメージ★



H8年 池袋本町防災まちづくりの会発足、「防災まちづくり推進書」区長啓事
H12年 本町防災ひろばの会inJR職員住宅跡地利用検討会発足
H14年 「本町防災ひろば本町利用」についての協議書」区長啓事
H16年 「新しいまちづくり」についての提言
池袋本町防災まちづくり会、ニュースによる情報発信...、等

「新しいまちづくりの会」では、池袋本町地区のまちづくりに関して、「防災」に限らずより広く協議し、区との協働により幅広い活動を展開していきます。
池袋本町防災まちづくり会、ニュースによる情報発信...、等

つれづれに一言
今、池袋本町のまちづくりの体制が変わろうとしています。これまでの、「防災」を軸にしたまちづくりではなく、範囲をひろげようというものです。
平成七年一月十七日、阪神淡路大震災。その翌年から始まった豊島区防災生活圏促進事業。この事業終了後の四か月に千葉県北西部地震が起きた。足立区内では、震度五強を示し、首都圏のラインはみごとに崩れました。また、連絡体制の問題点も浮きほりにされました。
何時、何が起きてもおかしくない状況です。新しい体制での「まちづくりの会」のなかでも、「防災」という視点を意識しつつ、このまちの地域性と人のつながりを大切にしたい。みなさんと一緒に活動を続けていきたいと思えます。これは、「安全・安心・信頼のまち」には欠かせないことだと思っております。
多くの方々の「新しいまちづくりの会」へのご参加をお待ちしています。(機原 清)